

令和 8 年 5 月 2 9 日

保護者の皆さまへ

横浜市立茅ヶ崎台小学校
校長 市川 琢也

新たな防災気象情報の運用開始に伴う対応へのご理解・ご協力をお願い

日頃より横浜の教育にご理解・ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

広報よこはま等でもお知らせがありましたが、令和 8 年 5 月 29 日より、気象庁からの気象警報の発表方法が大きく変わります。

台風等の風水害が発生した際の休校等の基本的な考え方につきましては、以前よりお知らせしているところではありますが、今回の運用変更に伴い、横浜市では、「レベル 4 危険警報」相当の発表がされた場合、児童およびご家族の安全確保を最優先とし、登校前、登校後において、教育委員会事務局及び学校にて休校の判断をするこ
といたします。

※大雨危険警報については、全学校が休校措置の対応になりますが、河川氾濫危険警報、土砂災害危険警報、高潮危険警報については、本校は対象外になります。

レベル 4 危険警報は、災害が発生するおそれが高く、速やかな避難が必要な状況です。避難情報を必ず確認し、学校からの連絡（すぐーる等）を必ず確認していただくようお願いいたします。

なお、今回の運用変更に合わせて、学校からお知らせしている「各種防災に関する児童の安全確保について」を改訂し、本日配付しましたので、内容をご確認ください。同文書は、すぐーる配信するとともに、本校のホームページに「災害時の対応」にも掲載しています。

【担当】

横浜市立茅ヶ崎台小学校 副校長
電話 045-942-8510

【参考】

○ 新たな防災気象情報の運用開始に伴う発表方法の主な変更内容

(1) 防災気象情報を5段階の警戒レベルで発表

避難指示の発令等の目安となる「警戒レベル4」相当の防災気象情報として、新たに「レベル4危険警報」が発表されます。



(2) 気象警報等発表区域の細分化

横浜市域における気象警報等の発表について、これまでの「市全域」を対象とした発表から、市域を「北部」と「南部」に分けて発表されます。

